

## 実践報告資料

研究テーマ『情報モラル教育を通じた自他を大切に作る人権教育の実践』

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名（小野市立小野中学校）

<p><b>ア 人権教育としてのねらい</b>                  情報モラル教育を通して、自他の違いを認め合う態度や、豊かな人間関係を築くための資質、技能を育成する。</p>				
<p><b>イ 研究の概要</b>                  SNS上における人権問題に対して、意識を高める取組を行う。また、生徒たち自身が人権侵害の加害者や被害者にならないよう、未然防止につながる取組を行う。</p>				
領域	教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	技術科1年担当	1年生担任	生徒会生活部担当 推進教員	1・2・3年生担任
実施日	10月下旬～11月上旬	11月29日	4月～3月	7月11日
取組名	ネットの危険性	真の友情	「小野中ネット・スマホ4か条」の月例アンケート	ネット上の文字によるコミュニケーションを考える
目 標	情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性を知り、情報の適正な利用について考える。	真の友情の尊さについて理解を深め、尊敬と信頼に支えられた友情を育てようとする実践意欲を培う。	ネット・スマホの使い方を毎月振り返り、SNSに適切に関わりようとする集団づくりを生徒主体で行う。	ネットワーク社会を生きる一員として相手を意識した文字によるコミュニケーションを心がける態度を養う。
資料名	「利用するときのモラル」「人権や個人情報の保護」 『技術分野』（開隆堂）	「雨の日の届け物」 『中学生の道徳1年』（あかつき）	/	「文字によるコミュニケーション」 『スマホ世代の子どものための主体的・対話的で深い学びにむかう情報モラルの授業』（日本標準）
指導内容や指導方法の工夫等	迷惑メールやチェーンメールの対応を知る。 ワンクリック請求のページを疑似体験し、請求されたときの対処方法を知る。	ある出来事をきっかけに仲違いをしながらも、友達の誠実な行動を通して友情について考えを深めていく主人公の心情について考える。 本当の友達とはどういうものか、自分の考えをもち、より良い関係を築こうとする実践意欲につなげる。	生徒会生活部が主体となって、「小野中ネット・スマホ4か条」が守れたか、アンケートを毎月行う。生徒会役員が、全校朝会や掲示板でアンケート結果を報告し、上手にSNSと付き合っていくよう呼びかけをする。 アンケートの項目や呼びかける内容を毎月工夫し、年間を通して注意喚起をしていく。	文字で自分の気持ちを正しく伝えるにはどのようにしたらよいかを考え、相手を意識したやり取りの重要性を理解する。次に「グループはずし」の事例から文字によるコミュニケーションによって生じる「ネットいじめ」について検討する。 生徒同士で検討できるように、班活動を取り入れる。